

新中同窓会報

発行 新中同窓会事務局
印刷 新中同窓会事務局

創立七十二年

「コロナ危機をどう乗り越えるか」

同窓会会長

本間 健 人(下大野)

昭和45年卒

新年おめでとうございます。会員の皆様におかれましては、日頃より母校の活動に温かい御声援や御支援をいただき感謝申し上げます。

昨年新中中学校創立七十二年、新型コロナウイルス対応に追われた年として歴史に残ることと思います。また、戦後七十五年の節目年でもありました。我々ができることは、歴史から学んだことを後世に伝えることではないでしょうか。ある新聞の戦後七十五年特集の中に、「戦争は悲しみだけを残す」の一文がありました。戦争を体験された方々だけでなく、戦争を知らない世代を含め全ての人々に考えさせられる言葉です。

今年の課題はこのコロナ危機をどう乗り越えるかです。コロナウイルス感染拡大の影響により、子供たちは様々な学びの機会を失いました。「ピンチはチャンス」と言われています。新中中学校では、コロナ禍で教育活動が制限される中、できないと諦めるのではなく、どうすればできるかを考え、「生徒一人一人の良さに光が当たる教育活動」に取り組みされてい

以前講演会で次の話をお聞きしました。「最近の子供たちは、ストレスがたまっている。そのストレス解消のために各種の問題行動を起こしている。家庭でもそのストレスを上手に解消させてやらないと、家庭でできるストレス解消は「家族の団欒(だんらん)」です」。

単にいうと会話と笑いだそうです。スマホの普及でメディアの使用時間が多く家庭内での会話が少なくなっている傾向がありますが、わずかでも団欒の時間をもつことが心の安定につながるそうです。同窓会としての活動は限られていますが、今を生き、これから

の佐渡・新穂を支えてくれる中学生を、卒業生の一人として見守っていきたくと思います。最後にになりましたが、会報発行にあたり、御多用な中玉稿をお寄せいただきました皆様方に感謝申し上げますと共に、会員の皆様の御健康と今後ますますの御活躍を祈念申し上げます。

今年度の全校生徒数は、78名、一年生32名、二年生25名、三年生21名です。部活動は、バスケットボール男子、バレーボール女子、ソフトテニス男女、野球部、陸上競技・駅伝競走を開設しています。

また、今年度よりNIE(教育に新聞を)の研究指定を受け、来年度の発表に向けて準備を進めているところです。以下は、新聞に掲載された研究指定校紹介記事です。

「トキのむら新穂にある中学校です。新穂は佐渡の中心に位置し、三つのダムを有する豊かな水源、森林、水田に囲

母校近況報告

新中中学校校長 小沼 泰 高

昨年度は、ポータブルアンブを御寄贈いただき誠にありがとうございました。紙面をお借りして、御礼申し上げます。さて、全世界が新型コロナウイルスに苛まれる中、とりわけ島外で御活躍の皆様にあたっては、帰省もままならない状況と拝察いたします。「故郷は遠きにありて想うもの」高速交通網が発達した現在では、古めかしく感じるこの言葉の重みをかみしめておられる方もいらっしゃると思います。また、佐渡学と称する総合的な学習の時間では、多くの方々より御支援をいただきながら、ふるさと新穂の良さを学んでいます。

またれた自然景観豊かな地域です。教育目標「やさしく、つよく、あたらしく」の下、全校生徒78名が学習と諸活動に取り組んでいます。新中中学校区では、学校・保護者・地域が一つとなって子供たちの教育にあたっています。平成三十年度発足の学校運営協議会では、「あいさつ祭り」「わんわんパトロール」「お散歩隊」といった地域ぐるみの活動を展開し、日本一あいさつの良い地域を目指しています。また、佐渡学と称する総合的な学習の時間では、多くの方々より御支援をいただきながら、ふるさと新穂の良さを学んでいます。

今年度の全校生徒数は、78名、一年生32名、二年生25名、三年生21名です。部活動は、バスケットボール男子、バレーボール女子、ソフトテニス男女、野球部、陸上競技・駅伝競走を開設しています。

また、今年度よりNIE(教育に新聞を)の研究指定を受け、来年度の発表に向けて準備を進めているところです。以下は、新聞に掲載された研究指定校紹介記事です。

「トキのむら新穂にある中学校です。新穂は佐渡の中心に位置し、三つのダムを有する豊かな水源、森林、水田に囲

あゆみを紹介いたします。

- 令和元年度(平成31年度)生徒数70名(男子38名、女子32名)
- 陸上共通男子砲丸投1名、県大会・通信陸上大会出場
- 陸上共通女子砲丸投1名、県大会・通信陸上大会・北信越大会出場
- 全国離島中学校野球大会(長崎県対馬市)2名出場
- あいさつ祭り(6月、10月)
- 二年生課題解決型職場体験
- 立志元服式
- 株式会社フエルミエ 取締役社長 本間るみ子様(長崎出身)
- 3月4日(24日) 臨時休業
- 第73回卒業証書授与式・同窓会入会式(男子11名、女子12名)

- 令和二年度 生徒数78名(男子41名、女子37名)
- 4月27日(5月1日) 臨時休業
- 夏季休業期間変更 新穂公民館で授業実施(6日間)
- 野球オンノネカップ県大会出場
- 二年生課題解決型職場体験
- 三年修学旅行10月に県内で実施(3日間)
- 新穂地区三校PTA協議会主催 オンラインメディア講演会
- 講師 和歌山大学教職大学院 教授 豊田充崇様
- あいさつ祭り(10月)
- エアコン設置
- NIE実践研究校指定・一年次発表

学校林について御存知の方はいらっしやいませんか?

昭和二十五年四月に、当時の三年生が新穂山で植林をしたという記録が、学校沿革誌に載っていました。当時の資料には、上新穂新穂山(砥ノ平)と書かれています。詳しく御存知の方がいらっしやいましたら、お聞かせください。



新穂の歴史講話

新穂の歴史講話



新穂の歴史講話

農業へのかかわり

高橋 正行(新穂 昭和53年度卒)

新穂中学校に入学するタイミングで引越してきました。それまで山奥で育った私は国中平野は「平坦で広いところだな」という印象が鮮明に残っています。中学校のグラウンドも校舎もそれまでの学校とは比較にならないほど大きく感じました。そしてやはり広い国中平野で黄金色の稲穂がゆらゆらと揺られながら秋の風景が今の職業を志す原点の一つになったのかも知れません。

今の結果は過去の努力！ 今の努力は未来の結果！

土屋 貴伸(内巻 平成5年度卒)

平成十五年以来の新中野球部、県大会出場おめでとうございます。私は新中野球部OBでもあり、また少年野球の指導者として誇りに思っています。今の野球部の子供たちが少年野球をやっていた頃は、敵なしだったことを思い出します。来シーズン、全国大会目指して頑張ってください。やればできる！！

さて、今シーズンは新型コロナウイルス感染症防止のため活動の自粛を余儀なくされ、子供たちは大好きな野球ができない日々が続きました。また、みんなに会うことができず悔しい日々を過ごすこととなりました。野球ができるようになったら、子どもたちの笑顔が見られるようになったことに幸せを感じました。新型コロナウイルスの新型コロナウイルスの関係で大会数もかなり減りましたが、少年野球の各大会の佐渡予選では全大会を制覇し、越後大会や新潟アルビレックスBCカップ(県大会)



しての生活をはじめました。私の人生の中でも大きな転換点でした。多くの生命と財産が失われた東日本大震災に見舞われた春の出来事でしたので、生涯忘れられることはありません。それまで地域の皆様に支えられて、経営規模を順調に拡大してきました。若社員たちがドローン操縦や工作物の防衛コンパインで補給をしたりと、日々の作業を楽しくする向き合う姿は頼もしい限りです。他産業と比べ、担い手や後継者の課題は殊更大きいように思いますが、先進的な技術を用いる限り取り入れ、若い社員が定着して、持続可能な事業として生き残るよう日々模索しているところで

ベルに出場することができました。越後大会では代表決定戦で負け、悔しい思いをしましたが、アルビレックスBCカップでは三位という成績を取りることができ、とても良い経験ができました。新穂少年野球部は「全国大会出場」を合言葉に努力してきました。しかし、下越大会やアルビレックスBCカップの県大会レベルの大会でも戦えたこと、子供たちの自信につながったこと、これからの練習の励みになると思います。来シーズンも全国大会出場を目指して頑張ります。この関係なく、強い意識をもって戦っていきたく思っています。

新中野球部に負けないように一生懸命に努力を続けていきたいと思います。これからも指導者として、更に一人でも多くの子供たちに野球の楽しさを伝えることが、少年野球部一丸となり野球の普及につながるような活躍をしたいと思っております。新穂地区の皆様方からの御声援や御指導、御鞭撻をよろしくお願いいたします。

佐渡にクラフトビールの文化

土屋 雅樹(青木 平成7年度卒)

皆さんはクラフトビールを御存知でしょうか？以前は地ビールと呼ばれていましたが、昨今のクラフトビールも耳にした方もいるかも知れません。クラフトビールの定義というのは、実は日本には存在しませんが、造り手の思いとこだわりが詰まったビールである、というのが飲む人の共通認識であると考えています。

陸上競技と私

土屋 美琴(青木 平成29年度卒)

私が新穂中学校を卒業してから約三年が経とうとしています。中学校の思い出を振り返ると、やはり最初に浮かんでくるのは部活動のころです。私は、二年生の頃、一菜(一菜)という趣味で始めた陸上競技でした。私は練習がめったに四種競技でした。私は練習がめったに四種競技でした。私は練習がめったに四種競技でした。

私は中学校卒業後、佐渡高校に進学し、陸上競技部に入りました。高校では七種競技に挑戦することにしました。七種競技は二〇〇mハードル、走高跳、砲丸投、二〇〇mハードル、走高跳、砲丸投、二〇〇mハードルです。最初は自分の納得いくような

ろいろな事を学んでおります。話を戻すとビールが「おいしくて楽しいから」という理由で仕事にしておりますが、もう一つ魅力があります。ビールが持つコミュニケーションツールとしてのすばらしさです。現在、世の中は新型コロナウイルスの影響により物理的にコミュニケーション(繋がり)を得る機会というのが困難になっていますが、人は他人との繋がり無しでは豊かに生きられません。中学校時代は部活動や授業など学校生活を通して多くの繋がりが得られていたのが、社会人になると仕事以外での関係性が薄薄になりがちです。しかし私が勤務している店では、初めて会う人と同じように、会社や立場性別等も全て関係なく、ビールが好きだという共通点だけで意気投合し、連絡先を交換し合う様な事が日常茶飯事で、中には結婚に至るケースも珍しくありません。

恩師の言葉

佐渡地区中学校駅伝大会初優勝 中川 茂也

今から約四十年前、昭和五十六年四月から昭和六十年三月までの四年間、お世話になりました。当時の校長は、土屋源先衛門先生で、学校体育連盟の理事でも活躍されました。職員構成は、校長先生以下教員の平均年齢が五十歳以上とお年寄り、失礼、ベテランの先生方が多かったように思います。久保繁夫先生と三年生の担任を任せられ、戸惑いました。

私は高校卒業後、大学に進学し陸上競技を続けました。まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りました。応援よろしくお願いたします。

変幻自在

コ罗纳に 負けずに！ (生徒会長)

令和二年度の生徒会は「変幻自在」の仲間と共に様々な高みへのスロウガンでの様々な活動に取り組みしてきました。今回は、その中の四つの活動を紹介いたします。

令和二年度同窓会役員

- 顧問 小沼 泰高(新穂中学校校長)
会長 本間 健人(下大野)
副会長 本間 瑞穂(下大野)
幹事 酒井佳代子(馬場)
庶務 藤原 浩明(青木)
会計 土屋 由香(青木)
庶務 土屋 一裕(内巻)
庶務 木下久美子(湯上)

私は高校卒業後、大学に進学し陸上競技を続けました。まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りました。応援よろしくお願いたします。

六人のグループに分かれ、東大ナゾトレを行い、その後全校生徒で鬼ごっこをしました。この二日間を通して、仲間との絆を深めることができました。今年度は新型コロナウイルスの影響で密にならないようになく工夫を凝らしました。みな体育祭にできるか不安でしたが、本番では、今までにない最高の体育祭になったと思います。



体育祭 選手宣誓

令和二年度同窓会役員

- 顧問 小沼 泰高(新穂中学校校長)
会長 本間 健人(下大野)
副会長 本間 瑞穂(下大野)
幹事 酒井佳代子(馬場)
庶務 藤原 浩明(青木)
会計 土屋 由香(青木)
庶務 土屋 一裕(内巻)
庶務 木下久美子(湯上)

私は高校卒業後、大学に進学し陸上競技を続けました。まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りました。応援よろしくお願いたします。

お問い合わせ先: 佐渡新穂中 新穂中学校同窓会事務局
〒952-0106 佐渡新穂中 生屋7-19
電話 0259-9-221-2068
FAX 0259-9-221-2069
E-mail: nihos@ssn.ac.jp
HP: http://nihosssn.ac.jp/